

## KMAPによる微分方程式の解法(3)－特殊関数

### ②＜ベッセルの微分方程式＞

(A) H27(2015). 5. 25 片柳亮二

微分方程式の初期値問題をKMAPで解く方法について述べる.

#### [例題 3.2] ベッセルの微分方程式

ケプラーの惑星の運動において現れるベッセルの微分方程式について、ここでは時間に対する微分方程式と考え、初期値問題として解の時間応答を求めよ.

$$\ddot{x}(t) = -\frac{1}{t}\dot{x}(t) - \left(1 - \frac{\nu^2}{t^2}\right)x(t), \quad \text{初期値 } x(0)=0, \quad \dot{x}(0)=1$$

なお、 $\nu=1$  とする.

まず、 $\dot{x}$ の初期値について検証しておく.

ベッセルの微分方程式の解は通常次のように標記される.

$$x(t) = J_\nu(t)$$

この $J_\nu(t)$ は、 $\nu$ 次の第一種ベッセル関数とよばれ、次の漸化式がある.

$$t \frac{dJ_\nu(t)}{dt} + \nu J_\nu(t) = t J_{\nu-1}(t)$$

いま、 $\nu=1$  に対しては次のようである.

$$t \frac{dJ_1(t)}{dt} + \nu J_1(t) = t J_0(t)$$

ここで、 $t=0$ においては、 $J_1(0) = x(0) = 0$  であるから、

$$\left( \frac{dJ_1(t)}{dt} \right)_{t=0} = J_0(0)$$

となる. ここで、この式の右辺の値は0であるので、初期値に関しては $x(t)$ で表すと次のように表される.

$$\dot{x}(0) = 1$$

さて、ベッセルの微分方程式の応答を求めよう. いま、次のようにおく.

$$x_2 = \dot{x}$$

このとき、ベッセルの次の1階の微分方程式に変形できる.

$$\begin{cases} \dot{x} = x_2 \\ \dot{x}_2 = -\frac{1}{t}x_2 - \left(1 - \frac{1}{t^2}\right)x \end{cases}$$

行列表示すると次のようである.

$$\begin{bmatrix} \dot{x} \\ \dot{x}_2 \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} 0 & 1 \\ -\left(1 - \frac{1}{t^2}\right) & -\frac{1}{t} \end{bmatrix} \cdot \begin{bmatrix} x \\ x_2 \end{bmatrix}, \quad \text{初期値 } x(0)=0, \quad \dot{x}(0)=1$$

この状態方程式を KMAP で解くために, 次の行列のインプットデータを準備する.

$$A_P = \begin{bmatrix} 0 & 1 \\ -\left(1 - \frac{1}{t^2}\right) & -\frac{1}{t} \end{bmatrix}, \quad B_P = \begin{bmatrix} 0 \\ 0 \end{bmatrix}$$

(この行列の 0 以外の要素にデータを設定する)(下記インプットデータ参照)

(このインプットデータの作り方については下記資料を参照ください)

<http://katayanagi.g.dgdg.jp/Introduction%20of%20KMAP%20State%20Equation,Y150524.pdf>

この微分方程式を初期値を考慮して, KMAP により直接解いてみよう.  
ベッセルの微分方程式の行列表示式の応答を求めようとする,  $t=0$  で 0 割が生じて計算不能になる. そこで, **時間をわずかに ( $\Delta t=0.001$  秒)ずらして計算を行う.**

### EIGE. 微分方程式 (3.2). Y150513. DAT

```

NXP                = 2
tmax(s)            = 10.000
1. NU1-----> 2
  T, U1             0.000      0.000
                   60.000      0.000
3. NU3-----> 2
  T, U3             0.000      0.000
                   60.000      0.000
5. NU5-----> 2
  T, U5             0.000      0.000
                   60.000      0.000
*****10*****20*****30*****40*****50*****60*****70*****
<積分数, IRIG, TDEBUG 時間, 補間関数> 3 0 0.0 0
  <Control System Data>          Hi *---GAIN---NCAL*N01*N02*N03*NGO*LNO
1 //
2 H1=E68; (time)                 H 0          13 1 68 0 0 0
3 H2=G;                           H 0 0.1000E-02 11 2 0 0 0 0
4 H3=H1+H2; (t+Δt)               H 0          21 3 1 2 0 0
5 H12=G;                           H 0 0.1000E+01 11 12 0 0 0 0
6 H4=H3*H3;                       H 0          23 4 3 3 0 0

```

```

7 H6=G/H4; H 0 0.1000E+01 25 6 4 0 0 0
8 H7=H12-H6; H 0 22 7 12 6 0 0
9 H21=H7*G; H 0 -0.1000E+01 17 21 7 0 0 0
10 H22=G/H3; H 0 -0.1000E+01 25 22 3 0 0 0
11 AP(I1, J2)H12; H 0 621 1 2 12 0 0
12 AP(I2, J1)H21; H 0 621 2 1 21 0 0
13 AP(I2, J2)H22; H 0 621 2 2 22 0 0
14 //
15 //-----
16 //安定解析出力に追加する場合
17 //シミュレーション用出力(Z191~Z200)
18 //(このデータが TES6. DAT に入る)
19 Z191=Z6*G; H 0 0.1000E+01 53 191 6 0 0 0
20 Z192=U1*G; H 0 0.1000E+01 52 192 1 0 0 0
21 //(最後に次の END 文が必要)
22 //
23 {Pitch Data END}; H 0 899 888 887 886 0 0
24 //*-----
25 //*(注1)状態方程式使用の場合
26 //* Z1, Z3, Z5 : 制御入力設定済
27 //* Z6~(NXP 個) : 状態変数設定済
28 //* Ri は安定解析の出力で下記注意
29 //* R6~(NXP 個) : 状態変数に対応
30 //* R(6+NXP)~Rn: 出力変数の追加
31 //* 解析出力キーは i=4~(R 設定数)
32 //*
33 //*(注2)状態方程式使用しない場合
34 //* Zi は全て通常の Z 変数
35 //* R6~出力変数を設定
36 //* 解析出力キーは i=4~(R 設定数)
37 //\$-----
----- (縦系ゲイン最適化 - 探索範囲) -----
探索ゲイン数= 0
重み係数= 0.0000E+00 影響範囲(rad/s)= 0.0000E+00
***** (ゲイン最適化 - 重み関数 W(s)) *****
極の数= 0
零点数= 0
ゲイン= 0.0000E+00 -----
初期値 X( 1)= 0.0000E+00
X( 2)= 0.1000E+01
38 {Control Data END}; H 0 999 0 0 0 0 0
----- (DATA END) -----

```

## ■ 結果表示 9 : 安定解析結果

```

***** POLES AND ZEROS *****
POLES( 2), EIVMAX= 0.1618D+04
N      REAL      IMAG
1  -0.16180334D+04  0.00000000D+00
2   0.61803350D+03  0.00000000D+00
ZEROS( 0), II/JJ= 4/ 1, G= 0.0000D+00
N      REAL      IMAG

```

## ■ 結果表示 7 : シミュレーション図

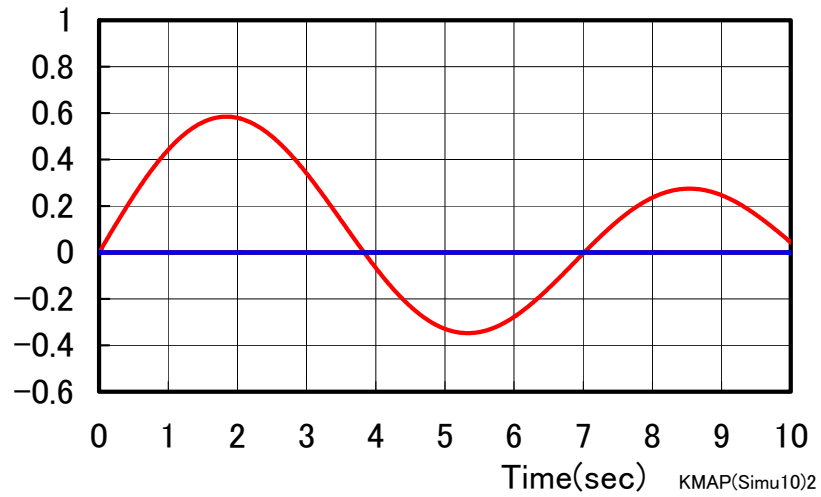


図 3.2(a) ベッセルの微分方程式の時間応答 ( $\nu=1$ )  
(KMAP(Simu10)2.xls のスケールを修正して表示)

以上